

2024～2025年度 小倉中央ロータリークラブ週報

第1345回 本日の例会 7月22日(月)

本日の卓話 クラブフォーラム
テーマ：・年会費について ・衛星クラブについて



例会日 月曜日 12:30～13:30
例会場 リーガロイヤルホテル小倉
事務所 小倉北区堺町1-2-16-3F
TEL 093-531-4015
FAX 093-531-1022

会長の時間 (7月8日 1344回 例会記録)

河野会長

出席報告 7月8日

本日は400年の歴史を持つと言われる小倉祇園太鼓にまつわる話をいたしましょう。私は現在、ダイワロイネットホテルがある町内、魚町1丁目、34店舗の町内会長をしています。町名は魚町ですが、祇園の山車は旧町名表記になりますので米町第2町内会となります。

祇園太鼓を子供のころから叩いている人は、この季節になると体がうずうずしてくると言います。小学生の頃は太鼓を叩く生徒の早退は許されていましたし、日ごろ大人しい友人も、この時ばかりは、鼻高々と早退していました。今でもこの3日間の為にだけに県外から帰ってくる人もいます。

私は今では、町内会長として祇園のお世話をし、少しばかり太鼓を叩くことが出来ますが、決してうずうずしてやることはありません。

子供のころから、「人が遊んでいる時には働け」と言うブラックな祖父さんに育てられた子供で、昔はビヤガーデンもやっていたので、家族の皆も、祇園の書き入れ時に遊び惚けるなんて事は、先ずありえませんでした。そんな少年時代を過ごした私ですから祇園の季節もどこか他人事のように感じていました。

しかし時代は変わり、人も育ち現場に出ることが少なくなるにつれ公の仕事を頼まれることが増えてきました。その一つが祇園の間、米町第2町内会の面倒を見ることです。

そこで、はたと気が付いたのは、自分は太鼓を叩けないということでした。踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿保なら踊らにや損、損、ではありませんが、祇園の間、じっと椅子に座っているわけにもいかず、まさに50の手習い、人並みに叩けるように練習をすることに決めました。行った先が、朝日カルチャーセンター、週一回の講習です。小倉の祇園太鼓は両面打ちと言って、全国でも類を見ない珍しい打ち方で、表と裏で打ち方が違うのです。子供のころから叩いていると自然と体に沁みこんで来るのでしょうか、50を過ぎて一から覚えるのは至難の業でした。教える先生も大変でしてはと思いますが、教わる私は頭で理解しても体がついていきません。

のぼせ者のような先生でリズムが狂うと、ビシッと注意されます。しかし、一年過ぎ二年過ぎ、三年目位から先生の目が優しくなって行くのを感じました。

さあ、いよいよ自分の町内でデビューです。ところが、小倉祇園太鼓は大きく三つの流派があって朝日カルチャーセンターで習った流派は、私の町内と違っていたのです。あー、この三年間は何だったのかと落ち込みましたが、技法が多少違っていても同じ小倉祇園太鼓、みんなが叩いている音を体で感じられるようになっていました。町内のみんなも、この年で月謝を払って一から練習を始めた私の努力を認めてくれ、町内会長としての面目もなんとなく保っています。

祇園の3日間(7/19.20.21)は、日興証券の横で、町内から一人浮いた叩き方をしている男がいますので、街に出られた際にはお寄りください。私でよければ朝日カルチャーセンターの叩き方をお教えいたします。

在籍会員数	43名
義務出席者	41名
ゲスト	2名
ビジター	3名
本日出席数	35名
本日出席率	85.36%
前々回修正出席率	90.69%

次回(7月29日)の卓話は、
クラブ協議会

「2024-25 活動方針・活動計画」

7月のお誕生日

5日 梶原 謙吾会員
26日 羽地 良一会員
30日 樋口 利雄会員

今月の主な予定

1日(月) 定例理事会
8日(月) R財団 勉強会
10日(水) 二水会
13日(土) クラブ活性化セミナー
14日(日) IA年次大会
28日(日) RLI 研修

四つのテスト ～ 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

幹事報告

北垣幹事

・次週 7月15日は、祝日のため休会です。

今回は、7月22日(月)です。

■■■■ 本日のゲスト・ビジター紹介 ■■■■



卓話の時間

「心躍る 共生社会を求めて」
障害児・者舞踏サークル「聖幻会」
代表 岩田 智子氏

出合いは、ある時、盆踊りの輪の中で障害児の保護者から「うちの娘に踊りを教えていただけませんか」と声を掛けられたことがきっかけです。「一緒に踊りを楽しめるかも」と気軽に引き受けたのですが、障害について知識や指導経験が全くなかった私は、「一体自分に何ができるのだろうか？」と不安に押しつぶされそうになったことも事実です。ダウン症の生徒に正座してもらおうとすると「筋力が弱いので無理です」「覚えることが難しいのでできません」等、保護者からの「無理、難しい、できない」は生徒が増えるにつれてオンパレードになりました。配慮不足と言われても配慮の仕方を知らない私は自分なりの指導を続けるしかありませんでしたが、今となっては、そのことがかえて面白い結果につながったのかもしれない。生徒たちは「できない」のではなく、「やったことがない」そして「できるようになる」まで「やっていない」だけでした。トライアンドエラーを何度も繰り返すうちに、少しずつ「できること」が増えていきました。まずは「〇〇だから〇〇できない」を「〇〇だけれど〇〇できる」に変換することから始め、今では「〇〇だからこそ〇〇できる」と自分自身で思えるようになりました。私が何も知らなかったからこそ指導ができる！人間の能力は無限大で使われていない分野があることを練習から学び、ひたすら生徒の可能性を信じ、どうすれば本人の能力を最大限に引き出すことができるのか、このことに集中して取り組みました。踊りきる「体力」、振りを感じる「脳力」、表現する「心力」、この三本柱を基本に、生徒の状態や性格を見て掛ける言葉を変え、まずは本人が「楽しい」「面白い」と感じることから始め、保護者には必ず「褒める」ことを約束してもらいました。

「踊りは心」。心を伝えることはそれぞれの想いが違い、目に見えないのでとても難しいことです。表面に見える形が整っていたとしても喜怒哀楽の感情を素直に表現することは至難の業ですが、生徒たちは難なく観客に感動を与えることができます。素直で純粋な心がきっとみんなに伝播していくのでしょうか。観客を巻き込んだフィナーレでは会場内は幸せのエネルギーで充満しています。一つ一つ舞台の経験を重ねる生徒の満足げな笑顔が、私の生き甲斐であり頑張る原動力でもあります。

小学生の時に観た映画「奇跡の人」のサリバン先生のような教師に憧れた夢も、諦めていた舞を再開できたことも、すべて生徒たちによって叶えられました。保護者や関係者の方々によって私の夢が支えられていることに感謝の気持ちでいっぱいです。



ニコニコ献金報告

累計 53,000円

福岡東 RC 田村様—河野会長、北垣幹事の輝かしい門出を祝して!!また、細川さん、狩野さんを地区へご出向いただき、重ねて御礼申し上げます。

直方中央 RC 竹田様—河野会長・北垣幹事様、一年間楽しい例会になるだろうと思います。応援しています。

直方中央 RC 坂本様—河野会長、地区ではお世話になりました。一年間のご活躍をご祈念申し上げます。

河野・北垣・鍋島会員—田村様、坂本様、竹田様、ようこそお越しくださいました。

巫部・網田会員—RI 第 2700 地区ロータリー財団委員会、中村委員長、本日は、例会終了後にポリオワクチンとロータリーについての勉強会ではお世話になります。どうぞよろしくお願い致します。

友田会員—7月6日(土)愛媛県にある石鎚山に行ってきました初登山でしたが無事に頂上まで登ることができました。標高 1982m、西日本最高峰で鎖場が 3 か所ありましたが天候にも恵まれ、全てクリアしましたのでニコニコ致します。有難うございます。

白石会員—岩田さん、久しぶりにお会いできてよかったです!!

大西会員—7/2 三人目の孫が産まれました。無事に生まれました事に感謝です。嬉しかったのでニコニコします。

合計 18,000円